



消防団創立100周年記念大会が行われました (県文化センター・木遣り演舞)

最近では物事の基本的な考え方が変わり地域組織で活動する人が少なくなり、自治組織の役員不足や消防団員の担い手不足が問題となっています。特に消防団は器具機材を使っ

て行動するため人員不足では十分な活動が行えません。消防では消防組織の規模拡大を目標に、まず小中学校の児童生徒さんに消防のを知ってもらい興味を持ってもらえればと、飯田OIDE長姫高校の生徒さんに地域人教育の一環として、パンフレットを作成していただき配布しました。団員確保に向け地域の皆様にもご協力をお願いします。

コラムかなえ

消防団はこのたび創立100周年を迎えました。消防団の役割は予防消防活動を通じ住民の生命と財産を守ることです。地域に密着し地域住民と協力し被害を最小限に食い止めることを念頭に活動しています。

CONTENTS

- 地域振興
県地区新春放談会ほか
- 生活安全
長野県民交通災害共済に加入しよう!
- 健康福祉
各支部健康福祉事業振り返り
- 環境衛生
パトロール振り返り・アルミ缶収集事業
- 消防団
消防団創立100周年事業
- 子どもを育て
1年を振り返って

地域振興

県地区新春放談会



副会長
奥村充由

1月20日、県文化センターのホールで県地区新春放談会が開催されました。

一色獅子舞保存会の優雅な祝舞で幕があがり、前田会長の挨拶に続いて佐藤市長から飯田市が「住んでみたい田舎」の全国一位に選ばれたこと。県はその人口重心地であること。そして「その評価に負けない住みよいまちづくりをしましょう」と祝辞をいただきました。

最初に先日行われた二十歳の集いの実行委員から抱負が語られました。渡邊航太君は、コロナのた

めに式典に参加することができなかつた悔しさをにじませながら「免許を取ってあこがれの仮面ライダーのようにバイクに乗りたい」。

矢澤あかねさんは、二十歳になって酒を飲めるようになることは自分に責任を持つことだ。「自立した素敵な女性を目指したい」と話されました。

続いて県中ジュニアボランティアの発表がありました。

小西公民館長の仕組みと中学生の地域参画活動の説明の後、二年生の村松のぞみさんと大島晃仁君が、「ずんずんずーん隊」による稲刈り、野菜作り等の農作業の体験や、



祝舞でスタートした新春放談会



県中学校生からボランティア活動への抱負が発表された

文化祭等の受付サポートで周りの人達から「ありがとう」と声をかけられて「やりがいを感じた。これからも参加したい」と話してくれました。

「県コマーシャル」では各地域で祭りに着られている法被の歴史とプロジェクトによる披露がありました。

最後に茶屋町太鼓の皆さんによる新しい年の門出にふさわしい勇壮な太鼓の響きで幕を閉じました。

コロナ禍が収束し、かつてのように和気あいあいと懇親会ができる日が早く来ることを願ってやみません。

研修視察旅行

総務文教部長
熊谷廣光

11月20日(日)まちづくり委員会では、愛知県方面へ研修視察旅行に行つて参りました。当日の朝は、今にも降り出しそうな空模様の下、2台のマイクロバスに分乗し22名で出発いたしました。

今回の目的地は瀬戸市の瀬戸蔵ミュージアムと刈谷市の東海環状自動車道の刈谷ハイウェイオアシス、そして名古屋市金城ふ頭にあるリニア・鉄道館でした。

まず、瀬戸蔵ミュージアムでは昭和の時代の香りそのものの建物の中に当時の瀬戸焼の工場がそのままの感じで再現されていて、子どもの頃を思い出す懐かしい感覚でした。



瀬戸蔵ミュージアム



リニア鉄道館でシミュレーター体験も

刈谷ハイウェイオアシスでは、施設の管理担当者の方から説明の後、各自で見学しました。見どころは新しくなったドラックストイレということで早速4億円をかけた注目のトイレを体験しました。

次に向かったリニア・鉄道館では話題のリニア体験装置で時速500kmの世界を体感しました。また、鉄道ジオラマの規模の大きさにはびっくりさせられました。

心配した大雨にも降られず、無事、研修旅行ができたことに感謝しつつ帰途につきましました。

県。パワーアップ事業
子供獅子舞獅子頭導入事業

名古屋獅子舞保存会
会長 常盤 広

名古屋獅子舞保存会では、獅子舞を通じて子ども同士の親交をはかり、和楽器に触れることで、地域に伝わる文化の継承と子ども達の情操教育の場として平成20年に地区内の小中学生に声をかけ、子供お囃子教室を始めました。これまで多くの子どもさんが獅子舞に携わってくれましたが、年々生徒は減少していました。令和3年に公民館主催の「名古屋村塾」で地区内の子どもさんを集め、獅子舞に実際に触れる企画を行いました。当日参加してくれた子ども達も獅子頭や笛や太鼓など、今



七五三で祝舞を披露

子どもでも扱える頭の購入の気運が高まり、今回の助成金申請を行いました。若獅子用頭3個を購入できました。入魂式を11月13日に名古屋神社にて神事と七五三参加者の前で初披露を行いました。今後とも大切に管理し、子どもたちの笑顔と区民の皆様への安寧を願い活動して参りたいと思います。



今後も多くの子どもたちが獅子舞に携わってくれることを期待

茶屋町は太鼓です

茶屋町太鼓
会長 野村 祐司

平成14年に住民有志により結成。発起人からの出資金と銀行からの借入金で太鼓大小5基を購入。千代の不動太鼓さんのご指導のもと、会を設立しました。その年に獅子祭り初めて人前で演奏をし、喜びもひとしおでした。その後毎年のように老人福祉施設での慰問演奏を始め、種々のイベントでの演奏。多い時は20回以上の演奏をする年もありましたが、コロナ禍で活動も制限され、活動の場も失ってしまいました。会員も減り、運営も難しくなっています。地域に根づいた伝統芸能を絶やすことなく守って育てていきますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



心に響いた新春放談会での祝太鼓

まちづくり委員会との懇談会を通じて

赤十字奉仕団県分団長
関口 敦子

1月24日に幹部役員による懇談会を開催しました。団員の確保や役員のなり手不足の課題では、組織内での改善、例えば業務スリム化の必要性などを話し合いました。また、コロナ禍でこの数年、炊き出し訓練が各地区で開催できていない状況や、避難所開設等についても訓練や学習会ができていないことからの不安なども話し合いました。防災教育の推進、自主防災組織の充実・強化に向けて、まちづくり委員会、自主防災会と赤十字奉仕団が連携して、訓練などに取り組んでいくことを確認しました。



事前防災と災害時の避難所対応について自主防災と赤十字奉仕団県分団による合同研修会を開催

県地区 第4次
基本構想基本計画
前期の検証総括

令和4年度のまちづくり委員会が主要課題である第4次県地区基本構想・基本計画の前期(令和元年～令和4年)の検証について、「評価シート」を用いて、基本計画に基づき事業計画の所管するまちづくり委員会の執行部を中心に評価・検証を進めてきました。取り組みの充実度において、新型コロナウイルスのために事業実施ができなかったことから、「評価しがたい」という評価がありました。基本目標の方向性は、「妥当・おおむね妥当」と評価され、中期を迎えるにあたって、基本構想基本計画の見直しは必要ないと検証をまとめました。令和元年にスタートした第4次基本構想基本計画は、同時に新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けて、事業の実施や取り組みが計画どおりに進められませんでした。しかし、この3年余の経験を生かし、令和5年度から中期をまちづくり委員会として着実に進めていきます。

初日の15日(木)午前7時より、東鼎交差点にて人波ルート作戦が行われ、下山・東



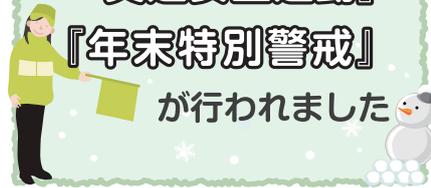
人波ルート作戦

12月15日から31日まで

『年末の交通安全運動』

『年末特別警戒』

が行われました



生活安全

鼎・西鼎・下茶屋・中平の交通指導員及び女性部員38名が参加しました。手や足先が痛いほど冷え込む朝となりま

防犯パトロール

12月中に各地区で防犯委員会を中心とした防犯パトロールを実施し、主に店舗の駐車場や公園、空き家の見回りや防犯灯の確認を行いました。



電話でお金詐欺にご注意ください!

令和4年中の電話でお金詐欺被害状況は、依然として高齢者を中心とした被害が多く、被害認知件数は前年から43件増加の198件。被害額は5億円

身近な事故に備えるため、

長野県民交通災害共済に加入しましょう!!

会費

400円(1人年額)

見舞金

入院、実通院2日以上 2万円～、死亡 100万円



令和5年3月末までに加入すれば同年4月1日から令和6年3月31日まで、4月以降随時加入の場合は会費納入の翌日から令和6年3月31日までが支給の対象となります。

加入を希望される方は、郵送された申込書を使用して以下の場所で手続きをお願いします。

市役所A棟1階会計窓口、各自治振興センター、りんご庁舎市民証明コーナー

8:30~17:15(土・日曜日、祝日を除く)

※申込書を紛失された場合は上記いずれかの窓口までお越しください。

市役所A棟1階証明書発行窓口

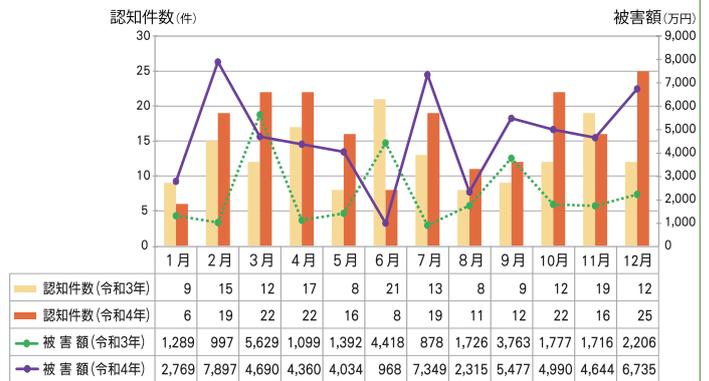
火・木曜日のみ 17:15~19:00 第2土曜日のみ 8:30~17:15

市内金融機関(郵便局を除く)

各金融機関の営業時間中



月別 被害件数・被害額 前年比



サイトを見て、電話でお金詐欺被害防止対策!

長野県警察 HP 電話でお金詐欺対策

警察庁 HP 警察庁・SOS 47 特殊詐欺対策ページ(ムービー)



健康福祉

外出支援事業

上山支部長
細井ひろみ



12月24日の朝、辺り一面真っ白な雪景色でした。この日は、高齢者外出支援事業としてクリスマス会を予定していましたが、「これでは、ご高齢の皆さんが歩いて区民センターまで来るのは危険だ」と考え、中止の連絡をしかけた時、突然お日様があたり、明るい日差しを浴びて、雪はどんどん溶けていきました。この日



クリスマス会の様子

ほど、お日様のありがたみを感じたことはありません。当日は、40名の方の参加があり、センターのポーチに並べられた椅子に座って、サンタからのプレゼントを受け取り、じゃんけんゲームをしたり、近況を語り合ったりして楽しい時間を過ごしました。ここ数年、コロナ拡大で思うように室内での事業はできませんが、それでも、家の中でじっとしていかないで外へ出てきてもらおうと考えた結果、このような方法で開催しています。参加者の皆さんは、当日は何を着ていこうか、久しぶりに化粧をしてみようか、とこの日を楽しみにしてくださっているようです。皆さんの嬉しそうな顔を見ると、また、次も頑張ろうと思わずにはいられません。

健康福祉事業

西鼎支部長
川上康行

新型コロナウイルス感染拡大の波が、6・7・8波と続く中、健康福祉事業は中止が多くなっています。健康づくり教室を開催することができませんでした。

「健康寿命をのばすために」をテーマに、保健師さんの指導でフレイル介護予防の説明や、簡単にできる筋力トレーニング、口腔ケア、体力づくりの学習を行いました。保健師からは、栄養・運動・社会参加で良い循環が生まれると説明がありました。家に帰っても、しつかり続けてもらいたいと思います。

その他に、区内の敬老会、運動会などが中止になったため、見守りを兼ねて、高齢者へ声をかけながらトレットペーパーを配布しました。また、高齢者外出支援も感染拡大のため、ティッシュペーパーとみかんの配布としました。私は初めての福祉事業で、戸惑いながら活動をしていましたが、西鼎委員3名と先輩の指導のもと、事業を進んで行っていききたいと思えます。

令和4年度 各支部事業報告

	健康づくり教室	高齢者外出支援事業	高齢者との世代間交流事業	その他
下山		一人暮らし高齢者へのプレゼント		見守り支援 ふれあいサロン
東 鼎	認知症予防健康講演会	75歳以上高齢者全員へのプレゼント	子ども達と高齢者クラブとの交流会	見守り支援 ふれあいサロン
西 鼎	①健康づくり教室(中止) ②「健康寿命をのばすために」講演会	①高齢者への年末プレゼント ②フラワーアレンジメント(中止)	小学生との七夕短冊づくり(中止)	見守り支援 ふれあいサロン
下茶屋	「お口の中の健康」講演会		下茶屋区納涼祭	見守り支援
中 平	中平健康セミナー			見守り支援
上茶屋				見守り支援
切 石				見守り支援
上 山	①認知症予防講演会 ②健康教室(体操)	①クリスマス会、新年会、困りごと相談 ②高齢者へのプレゼント		見守り支援 ふれあいサロン
一 色	健康教室(外出支援事業に変更)	一人暮らし高齢者へのプレゼント		見守り支援
名古屋	フレイル予防についての講演会	75歳以上高齢者全員へのプレゼント	子ども達との「おやす」作り	見守り支援

環境衛生

パトロール員を 終えて

飯田市不法投棄
パトロール員
齊藤 武人

2年前、簡単な気持ちで不法投棄パトロール員を引き受けましたが、すぐに、鼎全城を一人で巡回するということは大変な事だと気が付きました。

道路上にゴミがあるのに、交通量が多いためにゴミを拾えないことがあります。そこでパトロールを交通量の少ない日曜日に行うことにし、安全に実施できるようにになりました。

大きな粗大ゴミは皆無でしたが、タバコの吸い殻や弁当箱、ペットボトルに空き缶、マスクなど、身近なゴミがもつとも多く捨てられています。

た。小さなゴミですので、捨てる人も簡単に捨てていると思います。

また、「ポイ捨てはやめよう」の幟旗の取替えも重要な仕事でした。ゴミが多く出るところに旗を立てると、ゴミの量が減少しました。

ゴミの多い場所は、交通量が少なく、民家のないところでは、住民一人一人がゴミを捨てない意識を持つて行動し、ゴミのない鼎地区にしたいと思います。



アルミ缶 収集事業

環境衛生委員会では、地区の皆さまのご理解とご協力により、地区独自事業として、アルミ缶収集事業を実施しています。

今年度も300袋を超えるアルミ缶を収集することができ、感謝申し上げます。

この事業の収益は、鼎小・鼎中への寄附のほか、各区の環境衛生事業に活用しています。

アルミ缶を捨ててしまうのではなく、資源として活用し、貴重な財源として頂きますよう、引き続きご理解とご協力をよろしく願います。

●令和4年度 アルミ缶収集配当金一覧●

年間取引金額 752,850円		
区名	収集袋数 (単位:袋)	支給金額 (単位:円)
下山	26	41,450
東 鼎	26	41,450
西 鼎	42	63,880
下茶屋	9	17,620
中 平	12	21,820
上茶屋	42	63,880
切 石	13	23,230
上 山	114	164,830
一 色	132	190,060
名古熊	14	24,630
鼎小学校寄付	-	50,000
鼎中学校寄付	-	50,000

※支給金額
各 区…「均等割額 1区 5,000円+袋数割額」
小・中学校…「各校 50,000円」



回収されたアルミ缶

R5.2.16 アルミ缶売上寄附



鼎中学校



鼎小学校

2月16日、子どもたちに環境への意識を高めてもらうことを目的に、鼎小学校と鼎中学校へアルミ缶の売上金の一部を寄附させて頂きました。小中学校では、寄附金を活用し、環境学習に役立てて頂いています。今後も皆様のご理解とご協力を頂きながら、この活動を続けていきたいと思います。

鼎地区 飯田市合併 30 周年記念

♻️ サイクルバック

1枚 600円 販売中!



※販売場所：飯田市鼎自治振興センター (TEL22-7100) どうぞお気軽にお立ち寄りください。



年末警戒を
実施しました！

12月26日(月)～29日(木)の4日間、年末警戒を行いました。期間中は、夜間に本部詰所にて待機・地区内巡視を行い、有事の際に即時対応できる態勢を整えました。

長時間の待機となりますが、団員同士の交流の時間にもなるので、新入団員もこの年末警戒を通して打ち解けた様子でした。

幸い期間中は火災もなく過すことができました。今年も引き続き、火の用心をお願いします。

3年ぶりの
出初式開催！

新型コロナウイルス感染拡大により中止になっていた消防団出初式が、1月9日(月)、3年ぶりに飯田文化会館で開

催されました。

市中パレードはできませんでしたが、纏や木遣りの披露もあり賑やかに行われました。また、県地区では無火災表彰をいただくことができました。今後とも防火活動に取り組んでいきたいと思っておりますので協力をお願いします。

消防団
創立100周年記念式典

令和5年2月12日(日)、県文化センターホールを会場に消防団創立100周年記念式典を開催しました。

消防団の歴史は、大正11年に、商工業の発展、宅地化が進む地域の状況に鑑み公設の消防組織として「消防組」が発足したことに始まります。

現在は飯田市消防団第15分団として活動していますが、『地域住民の貴重な生命、財産を自ら守る』という精神は100年の間変わることなく受け継がれています。

消防団創立100周年記念実行委員会では、記念事業として、記念式典の開催、記念誌の発行、記念事業の実施に取り組むことを決め、一年間準備を進めてきました。

備を進めてきました。

記念式典では、まず記念事業の報告が行われ、記念誌の発行の他、消防団PR映像「カナエ・ファイア」の紹介、県小学校避難訓練の様子、小学生に向けたパンフレット制作などについて紹介しました。

動画は、県地区ホームページ「人ヲ鼎ル hitokana.com」からもご覧いただけます。パンフレット制作では、飯田OIDE長姫高校の生徒の皆さんが自ら消防団について学習し、小学生にも分かり易い表現に工夫して作り上げていただきました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、有賀消防長、前田まちづくり委員長、坂巻消防団長、岡本第15分団長がパネリストとなり、「鼎にとって消防団とは」を



記念事業報告



パネルディスカッション

テーマにそれぞれのお立場から発言していただきました。

「防災、災害時の対応は署、地域の連携や消防団のマンパワーが大切」「団員を地域から預かり、地域へ帰す。将来の地域の担い手になっていく」「消防団はやりがいがあり、楽しい」「団員を送り出す家族へ感謝」などの発言が心に残りました。

ファイナーレには、飯田市消防団木遣り隊が出演、入団の呼びかけ、無火災などを歌詞に織り交ぜ木遣りを披露、会場を盛り上げてくれました。

今回の事業を通して小中高校生、地域住民の皆さんとあらためて消防団について理解を深めることができたと思います。現役団員の皆さんのますますのご活躍を期待します。

消防団員を
募集しています！

15分団では現在団員を募集しています。災害への出動や訓練等、大変なこともありませんが、年齢差を超えた地域の仲間と力を合わせて頑張る経験は他では味わえないもので、やりがいを感じる事ができると思います。

地域のために一緒に頑張りたい。本人だけではなく地域や家族の方からお声がけいただけますようお願いいたします。

電話

090-9667-6397

メール

otokam-otomako7891

@yahoo.co.jp





一年を振り返って

委員長 小澤澄子

今年度当初の基本方針に沿って、事業計画を実行すべく、全委員努力致しました。言い訳にたくありませんが、コロナ感染がさらに重くのしかかった一年間でした。

コミュニケーションの定着を目指し、学校からの具体的な現状の提示により、学校、保護者、地域が協働して子どもを育むという活動は、折りに触れ周知に努めた結果、意識が浸透してきたと思います。中学生のジュニアボランティアアスレージョンの活動にも現れています。

今年度特に苦労したのは、子ども居場所づくり事業だと思えます。各支部で長年取り組んできた行事を規模縮小や中止しなければならなかったり。楽しみにしていた子ども達には、申し訳なく思いますが、

実行委員会を重ね準備した「信毎旗争奪県地区体育祭(ペタンク大会)」も直前で中止。そんな中、急きよ区単位のペタンク大会を開催した地区もありました。また、オミクロン株の拡大で中止になった納涼祭に替わり、七夕の飾り付けや花火大会を実施した地区も見られました。

やむなく中止となった行事の方向を変え、地域の方々の協力により様々な方法で行うことができ、笑顔を見ることができました。世代交流事業についても獅子舞・太鼓等練習不足のなかでの獅子舞フェスティバル、二十歳の集い、新春放談会での祝に花を添えた子ども達は、本当に輝いていました。おやす作りは密になるので中止になる地区もありました。が、どんど焼きはほぼ全地区で何とか伝承できました。

通学路の見守り、危険箇所の点検、あいさつ声かけ運動、安心の家マップの更新等が日々生活で取り入れることができ、活動を支えてくださっている全ての皆様に深く感謝申し上げます。

毎月10日、通学児童生徒の見守り立ち番のため朝7時前から自転車に乗り通学路の見守りに出かけます。

下山 朝の通学路

各級の委員メンバーは班ごとの場所に毎回立っていたいただき、子ども達がより安全に通学できるような声かけ、見守りを行って来ています。「おはよう」「いってらっしゃい」と

そんなある10日、早朝から雪が降り始め車道以外は真っ白。それでも委員のメンバーは立ちに来てくれました。雪が降っても子ども達はもともせず登校して行きます。そんな子ども達と挨拶をやり取りしていると元気をもらえます。

今年度もコロナ禍で大変な状況でいろいろな行事が中止を余儀なくされる中で、子ども達が少しでも喜んでくれる計画として、小学校PTAの皆様方が中心に計画して頂いた7月に行うはずの支部子ども会及び親子活動(親子でペタンク)が、コロナの感染状況が悪くなりやむなく中止の判断となりました。しかし、



1月22日には委員会で区内通学路のパトロールを行いました。水路落下防止フェンスの破損や、横断歩道で歩行者の視界を妨げる危険な植栽木など、多くの改善箇所を報告しました。



茶屋 一年を振り返って

自分は今まで子ども達と触れ合う機会がほとんどなかったもので、少しでも努力をしようと思いい、体験学習事業に参加したり、視察研修にも参加しました。特に印象に残っているのが、かざこし子どもの森公園で行われた視察研修です。草のキーホルダーづくり、染め紙でうちわづくり、ミニミニ門松をつくろうを体験しました。最初は初めての体験でうまくできませんでしたが、講師の方が親切に教えてくれて何とか形になり完成しました。当日参加された方々と打ち解けて会話ができ、楽しく充実した視察研修でした。これからは地区の行事や活動等に活かしていければと思っています。

一日も早くコロナの感染が収束して、いつもの日常が戻って来ることを願っています。

